

どんなときでもベストを
尽くそうと、スノーボード
競技に臨んでいます

「スノーボード日本代表に選
ばれてうれしい反面、海外の選
手に負けないよう、これまで以
上にトレーニングを積みまなけ
ばならないと感じます」と気を
引き締める宮武さん。

昨年2月に中国で開催された
『第24回ユニバーシアード冬季
競技大会』の女子パラレル大回
転で、日本人として初めてメダ
ルを獲得したのをはじめ、本年
3月に新潟県で開催された『第
16回全日本スキー選手権大会南
魚沼大会』の同種目で優勝を果
たすなど、活躍を続けています。
「どんなときでも、とにかく
ベストを尽くして滑ろうと競技
に臨んだ結果、良い滑りをする
ことができたと思います」とこ
れまでの大会を振り返ります。
宮武さんが出場したパラレル
大回転は、2人同時にスタート
し、旗門を通過しながらタイム
を競います。
「自分が狙ったとおりの最短
距離のラインを通り、旗に沿っ
てカービングターンを決めるこ
とができたときが一番楽しいで
すね」と競技の魅力話してく
れました。



▲力強い滑りを見せる宮武さん

今後の各大会で
一つでも上の順位を
狙います

宮武さんがスノーボードを始
めたのは、小学4年生のとき。
お父さんが、登別大谷高校スノ
ーボード部の監督をしていたの
で、自分もやってみたいと思っ
たのがきっかけでした。
「さまざまなジュニアの大会
に出場するうち、将来は世界で
戦える選手になりたいと思うよ
うになりました。今の目標は、
2014年のソチオリンピック
に出場し、メダルを取ること。
まずは、世界選手権やワールド
カップで一つでも上の順位を狙
います。登別の皆さんにも喜ん
でもらえたらうれしいですね」
と力強く話す宮武さん。オリン
ピックの表彰台を目指し、意欲
を燃やしています。



KIRARI

みや たけ しょう こ

宮武祥子さん(江別市)

登別出身でスノーボード選手の宮武祥子さんが、このたび、(財)全日本スキー連盟から、2010/2011スノーボードナショナルチームメンバー(日本代表選手)に選ばれました。

国内外のさまざまな大会で輝かしい成績を残すなど、大活躍の宮武さんに競技の魅力やオリンピック出場を目指す意気込みなどをお聞きしました。

2014年のソチオリン ピックでメダルを取り たい



▲「第24回ユニバーシアード冬季競技大会」スノーボード女子パラレル大回転表彰式(左が宮武さん)



昭和62年、登別市生まれ。23歳。

登別大谷高校、北翔大学を経て、現在は北翔大学大学院生涯学習学研究所2年生。北翔大学スキー部所属。